

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672100189
法人名	株式会社 一幸
事業所名	グループホーム みどりの郷
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町上別府4627番地 (電話) 0993-28-2250
自己評価作成日	令和2年2月8日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、利用者様が住みなれた環境で、グループホームでの生活に生きがいを感じ、気ままに生活をしていけるように取り組んでいる。
住宅地域の中に施設があり、施設内に畑もある。自然の中で、今まで農業や趣味で野菜づくりをされてきた方が多く、野菜等を育て、一緒に収穫して収穫したものを食事やおやつ等で食べるなど職員も一緒になって喜びを共有している。特に芋ほりの時は、車イスを利用されている方も畑と一緒に入り、泥だらけになりながら、一緒に収穫している。
地域の公園が施設の目の前にあり、自治会にも加入しており、公園の清掃も施設でおこなっている。地域のお祭りや、近くの保育園の運動会や、夏祭りにも参加させていただき、利用者様と一緒に行事等にも参加させていただいている。
当施設を運営する法人で年2回地域交流イベントこおりDeマーケットを開催しており、利用者様やご家族の交流や、地域との交流を目的に開催しており、回をますごとに大きくなり、ご利用者さまも楽しみにしているイベントとなってきている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは静かでゆったりとした自然が広がる住宅地に位置して小規模多機能ホームも併設されている。公園や小学校・中学校、スーパー、郵便局なども近くにある。協力医療機関や訪問看護とも連携し、特に利用者の健康管理と安全確保に重点を置いて、日常のケアの充実に管理者と職員が一体となって取り組んでいる。
保育園の運動会や夏祭り、地域の公園清掃や夏祭りなどに出かけ、敬老会等のホームの行事には地域の踊りやフラダンス、楽器の演奏等のボランティアの来訪がある。年2回の法人主催の地域交流イベントには多くの住民の参加があり、地域の方々の相談への対応やホーム入り口には掲示板がありホームの情報発信をしている。また小学校との交流の働きかけなどに取り組んで地域と積極的に協力関係を築いている。
利用者の思いや意向を「いかに心で聞くか」、そして出来る限り安心と笑顔あふれる楽しい生活が送れるかに管理者及び職員の関心が払われ、それらの実現に向けた意見交換と情報共有に重点を置いている。家族の意向把握も十分に心掛け、地域との交流や趣味の支援への工夫も含めて利用者の言葉やしぐさ・行動に注意を払い日々サービス向上に取り組んでいる。
管理者は職員に対して、日々声かけも工夫しながら話しやすい雰囲気作りに努め、職員の個別相談にも可能な限り対応している。職員同士の連携も良好で日々のケアや朝礼でも活発に話し合い、利用者の気持ち、また、家族の思い等に十分配慮しながら業務やサービス内容の改善、職員の資質向上等につなげている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人理念のもと事業所の理念を作成し、実践できるように日々努めている。	法人の理念及びホームの理念に沿って、地域とのふれあいの中で利用者が笑顔でその人らしく楽しく過ごせるように日々のケアに取り組んでいる。パンフレットへの記載や掲示、朝礼での唱和や日々のケアでの振り返りにより意義の理解を深めている。理念は定期的に見直しの必要性も認識している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の住宅街にあり、自治会にも加入しており、地域の公園の清掃等も利用者様と参加している。夏祭りの参加や地域の保育園の行事の参加など地域の方との交流を行なっている	自治会に加入して公園の清掃や夏祭り、保育園の運動会や夏祭りなどに参加し、近所の方から野菜の差し入れもあるなど地域の方と親しく接している。踊りやフラダンス、楽器演奏等のボランティアの受入れのほか、地域の方々の相談への対応や法人主催の地域交流イベント、ホームの消防訓練などに地域の方々に参加してもらっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	介護の相談や見学等もいつでも受け入れている。また法人の介護基礎勉強会にも地域の方も参加可能である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の自治会長、地域住民代表、家族代表、行政などの方に参加して頂き、活動の報告や、参加者の意見交換の場となっている	会議は家族や地域住民、市や訪問看護の職員等が参加して定期的開催されている。ホームや利用者の現況や事故、ヒヤリハット、外部評価等の報告のほか、意見交換や地域の情報交換が行われ、得られた助言や提案を職員で共有して、ホームの情報発信の掲示板設置や小学校との交流の機会づくりの提案など、提供するサービスの向上や業務の改善に役立っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当部署に行った際に、手続きや、相談などおこなっている。また、市主催の研修会等にも参加し、他事業所や市担当部署の方々との連携を深めている	市担当者には毎回の運営推進会議でホームの状況を理解してもらい多くの意見や提案をもらっている。また、電話や訪問・メールで利用者の暮らしぶりやニーズに関する事、各種の手続き上の相談等にも助言・対応してもらっている。市主催の研修会等にも出席して意見や情報の交換も積極的に行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的には身体拘束を行わない方針でケアに取り組んでいる。また定期的な研修等を開催し、正しい知識と、ケアの質の向上に取り組んでいる。	年間の研修計画に沿って高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を行い、職員の理解を深めて正しい知識を共有して、より良い支援の実現に努めている。特に言葉による行動制限や気持ちの押さえつけがないように、日々のケアでも繰り返し確認している。日中は玄関の施錠はせずに、利用者が外出しそうな様子がある場合には併設の小規模ホームの職員とも連携して見守り、近隣の方々には見守りや声かけをしてもらえるような関係づくりに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関して、介護基礎勉強会にて、正しい知識と理解をし、日々のケアに取り組んでいる。また、日々のケアの中で利用者様の精神状態や、身体的な障害がないか常に検討を行なっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会等に参加し、学習に努めている。日常生活支援事業や、後見人がついている方もおり、正しい知識を持つようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、重要事項説明等は詳細に説明を行ない、利用者さま、ご家族が納得した上で、契約を結んでいる。また、ご家族からの疑問点や、要望、改善等で必要と思われるときは、その都度文書等にて説明を行なっている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段よりご家族との連絡を密にとり、意見や要望などが出しやすい関係づくりを行なっている。その意見を運営推進会議や、たより等で報告、改善等に向けて話し合いを行なっている	契約時から丁寧な説明を心掛け利用者や家族に納得してもらえるように接し、「思い・確認シート」も活用して利用者・家族の思いや希望の把握に努めている。家族とは電話や来所時、運営推進会議、行事の際などに、話しやすい雰囲気作りを工夫して多くの意見を得ている。利用者状況チェック表や朝礼・日々のケアの中、業務日誌等で全職員が共有して対応を話し合い、家族にも運営推進会議や毎月のお便りなどで報告してサービスに具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や普段の会話の中で職員から、意見や要望が話しやすい環境を作れるように努めている。また、必要に応じて個人面談等を行い、意見や要望を出しやすい環境が作れるように努めている	代表者が定期的にホームを訪れ、管理者も日頃より職員とコミュニケーションを取りやすい雰囲気づくりに努めている。日常のケアや朝礼の他に、必要時には個別面談を実施して意見や提案を聞き取っている。研修や年2回法人で実施する人事評価等を通じて職員の育成も図り、提供するサービス向上や働きやすい職場環境作り、業務改善等に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は定期的に事業所を訪問し、職員の努力や能力、勤務状態の把握に努めている。また、管理者からも細かい報告等を日々行っている。法人として年2回人事評価を行なっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会への参加や、法人主催の介護基礎勉強会の開催、参加の声かけなども普段から行なっている。また、資格取得等に関しても、試験の案内やアドバイス、チャレンジする機会を提供している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>様々な研修会や講演会への参加を通して様々な方と交流するきっかけを提供したり、どら介護を語ろう会などを法人で開催し、近隣の施設の方々との交流が出来るようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前より家庭や病院等を訪問し、本人やご家族に面会して、生活状況や身体状況等の把握や、要望や不安な事等を聞き、早い段階での信頼関係が築けるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	早い段階でご家族の不安な事や、心配事、生活の要望等に耳を傾け、その不安に少しでも寄り添うことが出来るように努めている。また、思い・確認シートにて家族の思いをケアに反映していけるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際に、本人やご家族の状態をお聞きした上で、その方にあったサービスの提案も行なっている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔ながらの習慣や習わし、農作物の育て方や収穫のタイミング、料理の味付けなど、ご利用者様が得意な事などを見極め、聞いたり、一緒に行なったり、教えて頂いたりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等の参加の案内や、面会時や電話などで普段の様子や、利用者様からの要望を伝えたり、するなど、利用者様やご家族がいつまでもより良い関係が続けることが出来るように努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会や外出が出来るような体制を作るように努めている。その方が今まで築いてきた、関係や場所などが途切れる事がないように、ご家族とも協力しながら、支援に努めている	電話の取り次ぎのほか、家族や利用者の知人の来所時にはゆったりと過ごせるように配慮している。利用者が希望する近隣の買い物やドライブ・墓参り、菜園作業や料理の味付け、昔からのならわしに関すること、隣接する小規模ホームの利用者との交流などを積極的に支援している。家族の協力を得ながら帰宅・墓参り・外食等も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を把握し、職員で情報共有を行なえるように努めている。その情報をもとに、ホールの席の場所や、入浴の順番、話題の提供等行い、利用者様同士のコミュニケーションが円滑に行くように努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居先や、家族に詳しい情報提供を行なうと共に、入院先へのお見舞いに行ったり、ご家族への連絡したりして支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、思いや要望、希望を聞きケアにつなげている。また、普段からその方の視点に立ち考えるように努めている	入所時の聞き取り及び日常の対話や表情から、利用者の身体状況や暮らしぶり、生活歴や趣味、その時々々の思いや意向を把握するように努めている。できる・できないことも把握して利用者の立場になって考え、必要時には家族も交えて対応を検討し、利用者にとってより良い支援になるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から聞き、本人の暮らしぶりや、生活歴、仕事の情報などを聞き、ケアに生かしている。また、その情報をケアに生かすため、情報共有に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の中で、その方の出来る事や、出来ない事、身体の状態などを把握し、職員間での情報共有に努め、ご本人の生活リズムを大切にしながら、支援している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員からの普段のケアの様子や本人の身体状況などを情報共有して介護計画に反映させている。また、思い・確認シートを活用し、ご家族やご本人の思いを反映できるように努めている	利用者や家族の思い・意見とともに、職員からは身体状況や日々の支援状況をよく聞いて、主治医や看護師など関係者とも話し合いわかりやすい介護計画を作成している。日々の様子や変化などは利用者状況チェック表や業務日誌、経過記録に、職員の気づきや工夫も交えて正確に詳しく記述している。内容は職員が共有して、カンファレンスも兼ねた朝礼や定期的なモニタリングで状況に合わせた支援方法を話し合い、計画の見直しや修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の記録を用意して、日勤者、夜勤者が日々の様子を記録している。細かく記録を記入する事で様々な情報を共有できるようにしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族の状況や、要望に応じて柔軟に対応できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会に加入しており、自治会の清掃活動や自治会の夏祭り、近隣の保育園との交流や運動会などの参加など、ご利用者様も一緒に地域の中で役割を持ちながら生活できるように支援おこなっている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関を確保しており、ご利用者様が不安なく医療を受ける事が出来るように支援している。基本的には一緒に受診に同行し、状態を医療機関に伝えたり、不安な事など代弁できるように努めている</p>	<p>利用前の受診の経過把握に基づき家族や医師、看護師と連携し、本人・家族が希望するかかりつけ医への通院や訪問診療を支援している。また、歯科及び皮膚科の訪問診療もあり、専門医の受診も含めて受診状況や対応は職員や家族で共有されている。訪問看護師とも連携して健康管理に努め、協力医療機関により緊急時にも適切な医療が受けられる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、口吊の関わりの中にとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態で何かある場合は、看護職員に相談したり、主治医や協力医療機関、医療連携の訪問看護師に相談し、アドバイスや、助言等を頂いている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は適切な情報提供をするとともに、こまめな面会等を行ない、利用者様や、ご家族の不安解消に努めながら、本人やご家族の希望をききながら、病院とも連携を図っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、入居時、状態変化時にその都度、現在の状況等説明を行ない、ご家族を含め、関係する方と連携をしながら、対応行なっている。	重度化や終末期のケアについては「看取りに関する指針」で契約時に利用者と家族に説明して同意を得ている。家族の思いの変化や利用者の段階に応じて、職員やかかりつけ医、ホーム及び訪問の看護師、家族と十分な話し合いを行って方向性を共有し、看取りも含めてホームとして適切な支援が提供できるように取り組んでいる。職員のスキルアップのために、看取りの具体例を引用した勉強会も行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に一度消防署にお願いし、救命講習を実施、法人でも勉強会での学ぶ機会の提供を行なっている。AEDも設置している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に通報訓練や避難訓練、消火の講習や、救命講習等を実施し、災害時や非常時に円滑に避難できるように努めており、訓練時は地域の方への参加協力もお願いしている。また、行方不明者捜索訓練も実施し、不測の事態が起きて、あわてずに行なえるように努めている</p>	<p>定期的に消防署や地域住民の協力を得ながら、夜間想定も含む避難・消火・通報訓練を行っている。また、隣接する小規模多機能ホームと協力体制もできている。AEDやスプリンクラー・自動通報装置等の設置や定期点検の実施、食料・水等の備蓄も問題ない状況である。救命講習や研修も行われ、年1回は消防署や警察署、地域住民にも連絡の上で行方不明者捜索訓練も実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者さんに応じての声かけや自尊心やプライバシーに配慮した声かけをするよう心がけている。また、職員には状況に応じた適切な声掛けを心がけるように、指導、教育しながら全職員でケアにあたっている	入浴や排泄、食事の支援などの日常のケアに際して、個々の状況に応じた言葉遣いや声かけを工夫し、利用者の不安や羞恥心にも配慮しながら、それぞれの生活ペースを尊重した対応を心掛けている。また、関連する研修も実施し、きめ細かな観察に努め、居室や個人記録の保護にも十分配慮して、利用者の人格や感性を大切に支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、様々な自己決定が出来るように声かけできるように心がけている。また、利用者様が意見や希望を言えるような雰囲気作りに普段から心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者さま一人一人のペースで活動や生活が出来るように、柔軟に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしさを大切に、好みの服を着ていただけるように、声かけを行なっている。また、定期的に訪問理容時に、髪型も本人の希望に添えるように希望を聞き伝えるなど配慮している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	いつまでも食事を美味しく食べて頂けるように、ケアに努めている。最近一緒に調理を行なう事が少なくなってきたが、BBQやそうめん流しなど、利用者、ご家族も一緒になって参加できるイベントなども開催している	美味しく食べてもらえるよう工夫し、菜園や差し入れの野菜も活用して利用者の好みも献立に反映させ、とろみやきざみ食等の工夫を行っている。後片づけ等利用者のできることも一緒に行い、季節の行事食や誕生会・敬老会等の特別食、園庭での花見、家族とのバーベキューや法人全体のソーメン流しなども計画して利用者の楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の1日の食事量や水分量など把握し、栄養状態の把握等気をつけながら支援している。栄養士が作成した献立を基に職員が作成し、その方にあった食事形態や食材のきり方、トロミの使用など工夫しながら対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きや義歯の洗浄の声かけや介助を行なっている。また、義歯チェック表を作成し、忘れることがないように支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、排泄パターンの把握に努め、それを基に、トイレの声かけなど行なっている。出来る限りトイレで排泄が行なえるように、支援している	利用者の見守りや排泄チェック表を活用し、利用者個々のリズムを把握して、羞恥心や不安の軽減も考慮して、タイミングの良い誘導や声掛けを工夫しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。個々の身体状況や意向も十分把握に努め、それらに合わせた排泄用品等の使い分けや皮膚トラブルへの配慮などもプランに組み込み適切に支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や運動、腹部マッサージなどで自然に排便が出るように努めている。また、芋を食べて頂いたり、状況に応じ主治医の相談し、その方にあった対応策を考えたり、助言を頂いたりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様にとって入浴は楽しみの一つである為、楽しい雰囲気の入浴できるように支援している。基本の入浴日は決めてはいるが、希望等があれば入れるように柔軟に対応している	入浴は基本的には一日おきであるが、利用者の皮膚トラブルも含めた健康状態や安全面、清潔保持への配慮、また、希望にも沿ってゆったりと会話しながら入浴が楽しめるよう柔軟に支援している。入浴をためらう場合には、職員が十分に連携して言葉かけの工夫や職員・時間帯の変更など利用者本位の支援を心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の日光浴やレクリエーション、体操など日中活動を通して、生活のリズムを作れるように支援しており、休息したい時や一人になりたい時などは、柔軟に対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の薬の情報シート（薬情やお薬手帳）を保管して用法や副作用について把握に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	農作業や家事などその方の生活暦など把握し、様々な経験や得意な事など活かして行けるように支援をしている。また、季節ごとの行事や外出する機会を作れるようにご家族の協力も頂きながら、支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良いときなどは日光浴や、暖かい時期などは、外でのレクリエーションを行っており、また、ご家族にも協力頂きながら、外出やイベントなどのご家族して頂き、一緒に買い物などできる機会も作っている	利用者の健康状態や天候に応じて戸外でのレクリエーション、敷地内菜園の手入れ、希望に沿って散歩や買い物・外気浴等に出かけている。また、利用者と職員が毎月公園の清掃も行っている。年に数回は法人主催の地域交流イベントの「こおりDEマーケット」、園庭での花見や法人全体のソーメン流し、初詣、保育園の運動会や夏祭りなど、楽しく外出できるよう工夫している。家族の協力による墓参りや買い物、外食等も勧めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の状態に応じて、ご家族とも相談しながら、本人に管理して頂き、近くの商店への買い物や、病院受診時の帰りなどにお店に寄るなど柔軟に対応している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望時や、職員がご家族に用事がある時などに電話し、本人へ代わって頂くなど支援を行なっている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは天井が高く、自然な光が明るく入ってきて、開放感がある。季節を感じる事が出来るように、季節のお花や飾り物、掲示物などで季節を感じる事が出来るように、配慮行なっている。	ホームの近くには公園があり、園庭には菜園や花壇、中庭にはベンチも置かれて天気の良い日はレクリエーションも楽しめる。リビングは天井が高く、明るく開放感があり、季節を感じられるように花や手作りの作品が飾られている。行事等の写真や会長撮影の写真も掲示され、和室やソファも配置されて、利用者は思い思いの場でゆっくりと過ごすことができる。加湿器も設置され空調や清潔感には細かい配慮が感じられ、不快に感じる音や匂いもなく気持ちよく過ごせる環境である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや、玄関等にソファを置き、中庭にもベンチを置いてある。また、談話室の畳の部屋で過ごすこともできる。その方の好きな過ごし方が出来るように支援している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、ご家族にお願いしなじみのものや、写真など思い出の品を持ってきて頂き、その方の居室が過ごしやすい部屋となるように支援している。お位牌など持って来られている方もいる。	居室は家族とも相談し、一人一人の希望や状況に応じてテレビや写真、位牌、花、ぬいぐるみ、身の回りの小物など馴染みのあるものが持ち込まれ居心地のよい環境になっている。なお、居室はフローリングであり、ホームからはエアコン・ベッド・タンス・クローゼット・ナースコールが設置されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には必要な所に手すりを設置して、段差もなくバリアフリーになっている。また部屋の中のベッドやタンスなども、ご本人やご家族の希望等で配置を換えるなど柔軟に対応している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない